

2009年9月17日
日本郵政株式会社

お年玉くじつき年賀 誕生60年記念
2010年に贈る、2010枚「年賀」の祭典！

特別展「年賀 festa!」の開催

会期：2009年11月17日(火)～12月13日(日)／場所：通信総合博物館（1・2階特設展示場）

主催：日本郵政株式会社郵政資料館／協力：郵便事業株式会社

通信総合博物館（所在地：東京都千代田区大手町2-3-1）では、2009年11月17日（火）から12月13日（日）まで、特別展「年賀 festa!」（主催：日本郵政株式会社 郵政資料館）を開催します。

本展では、新年を寿ぐ吉祥文様や文体など、日本における年賀の歴史を紐解きながら、年賀状のデザインにもなっている伝統的な「祝」のかたちを振り返ります。

そのほか、「新しい年賀のかたち」を提案するため、一般公募やアーティストの絵封筒（封筒の表に絵を描いたもの）、絵手紙のほか、北海道で人気上昇中の「往来葉書」など工夫を凝らした年賀状を一挙展示します。

総展示数は来る2010年にちなみ、2010枚。さらに各種年賀状の教室も開催。

「ここに来れば年賀のことを一気に楽しめる！」そんな祭りのような空間が展示場に登場します。



▲最初に発行されたお年玉くじつき年賀郵便のポスター

会期について 歴史展示のみのプレ展示と一般公募の展示をプラスした本展示の2段階に分かれます。	
■プレ展示 2階特設展示場	2009年11月17日(火)～11月27日(金) 「年賀の歴史」
■本展示 1・2階特設展示場	2009年11月28日(土)～12月13日(日) 「年賀の歴史」(2階) + 「年賀デザイン」「公募年賀」(1階)

■ 展示概要

● **年賀の歴史コーナー（2階※プレ展示期間～最終日開催）**

年賀に関する所蔵資料から、新年を祝う手紙スタイルの変遷を展示。

● **年賀状のデザインコーナー（1階）**

書状、はがきなどさまざまな年賀状のスタイルを展示。年賀はがき・切手の原画展も併設。

※夏目漱石、川端龍子ら著名人の年賀状も公開します。

● **公募年賀コーナー（1階）**

一般公募、アーティストによる「アナタ」だけのアイデア年賀状、約1,000点を展示。

■ WORK SHOP 13:30-16:00 1階会場

11月28日(土)・29日(日)「作って投函!往来葉書」教室 (30分前~受付/定員20名)

2人の間で1枚の葉書が行き交い、《待つ・繋がる・相互に関わる》ことから生まれる「往来葉書」。連歌のようなその魅力をアーティスト小林重予がお教えます。出したい方の住所を持ってご参加ください。

12月5日(土)・6日(日)・12日(土)・13日(日)「手づくり年賀状」ワークショップ

主催：郵便事業会社 / 手づくりでつくる年賀状の楽しみ方を伝授します! (各日随時/①~③実施)

- ①切ってちぎって「紙版画年賀状」づくり
- ②割り箸と綿棒で描く「簡単絵手紙年賀状」づくり
- ③「コラージュ寅年賀状」づくり

■ EVENT 「年賀Live Paiting」 by 小林重予

11月28日[土]・29日[日] 午前中 1階会場

「往来」年賀状から新年をイメージした祝・寅年壁画のライブイベント。

■ TOPICS! 往来葉書【年賀Vir.】

北海道で人気上昇中の郵便アートが本土初上陸! それはアーティスト小林重予が生み出した「往来葉書」。1枚の葉書が差出人と受取人の2人の間を郵便で行き交い、絵や文字をコラージュして共同で完成させる新感覚の手紙スタイル。今回は詩画集『鬼のいる庭』の原画・北海道での往来葉書作品・年賀状バージョンを含む約500点が展示されます。

詩人：岡田哲也(詩)×造形家：小林重予(絵)のコラボ往来葉書 詩×絵の“ポップ”な裏面と“アート”な表(宛名)面【出典『鬼のいる庭』海鳥社】→



以上

通信総合博物館(ていぱーく) 概要

住所：〒100-0004 東京都千代田区大手町 2-3-1

アクセス：地下鉄「大手町駅」下車 A4・A5 出口すぐ

※東京メトロ：丸の内線、半蔵門線、東西線、千代田線

※都営三田線

JR「東京駅」下車丸の内北口より神田方面へ徒歩10分

入館料：個人 大人110円/小・中・高校生50円

団体(20名以上) 大人50円/小・中・高校生25円

(小・中・高校生のみ日曜・祝日は無料)

休館日：月曜休館(月曜祝日の場合は火曜休館)



通信総合博物館は1902(明治35)年、万国郵便連合(UPU)加盟25周年記念祝典行事の一環として誕生した「郵便博物館」から始まり、100年以上の歴史を誇る博物館です。

当館は、日本で唯一の「情報通信関係の総合博物館」であり、関係資料の収集、保存、展示、調査研究などの活動を通じて郵政・電気通信・放送の各事業の啓発及び普及を図ることを役割としています。現在は、日本郵政株式会社・東日本電信電話株式会社(NTT 東日本)・日本放送協会(NHK)が共同で運営しています。

【お問い合わせ先】

日本郵政株式会社 郵政資料館

電話：(03)3244-6821

担当：井村